

卒業研究 (Graduation Research)						
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当	
情報電子	必修	5年	10	研究	情報電子工学科全教員	
【授業の概要】 各分野の調査・実験・研究を行い、その結果を卒業論文にすることにより、自主的研究開発能力を養成する。高専5年間にわたる教育の総仕上げであり、高専教育（本科）の中で最も重要な科目である。						
【授業の進め方】 研究室配属は4年次後期の工学セミナー開講時に決定される。配属後、卒業研究テーマが決定され、文献調査、資料収集、研究計画作成、実験、研究、考察を行い、卒業論文としてまとめ、発表する。卒業論文は、論文集としてまとめ、発行する。						
【授業の概要】						
4年次の工学セミナーにおける研究テーマの再確認						
卒業研究中間発表会（10月）						
卒業研究論文提出（2月）						
卒業研究発表会（2月）						
** 配属先 ** 情報・通信システム 情報工学（池田信彦） 情報工学（義永常宏） 情報工学（奥本 幸） 言語情報学（高山泰博） 計算機工学（重村哲至） 応用物理（原田徳彦） 情報システム工学（柳澤秀明） 電子・制御システム 画像工学（百田正広） 制御工学（山田健仁） 計算機工学（守川和夫） 情報工学（小林明伸） デジタル信号処理（杉村敦彦） 計算機工学（新田貴之） 情報工学（古賀崇了）						
【到達目標】	自主的・継続的な研究を行い、途中経過を中間発表、ポスターセッションで報告すること。定められた様式で、期日までに卒業論文を提出し、卒業研究発表会で発表すること。					
【徳山高専学習・教育目標】	B2		【JABEE基準 1(1)】		g	
【評価法】	卒業研究の評価は、担当教員（70%）、発表点（中間発表：10%、本発表：20%）で行われる。担当教員は、1年間の研究状況、卒業研究論文の内容等により評価する。発表点は、発表会当日に公聴した教員による評価点の平均とする。					
【テキスト】	各研究室で用意される。なお、卒業論文様式は、徳山高専情報電子工学科卒業研究論文集を参考にすること。					
【関連科目】						
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】